

てんて ねっと

連載75回

「勤続20年に向けて」

中野市に「芳川豆腐こんにゃく店」という創業60年余の地元で有名なお豆腐屋さんがあります。会社の近くはいつも濃厚な大豆の香りがただよい、油揚げを揚げているいい香りもしてきます。

こちらに高校卒業後から勤務されているのが小嶋崇さんです。すでに勤続17年目になり、任されている業務は「出荷後の片付け作業」や「豆腐づくりの補助業務」です。ご自身も社長

さんも、入職当時は大変だったと話されます。

最初は注意を受けることもあったのですが『覚えるには時間が必要であること』など小嶋さんにとって必要な時間の流れを理解していただき、根気よく繰り返し教えて頂いたとのことでした。勤務し何年か経った頃、自己判断で帰宅してしまうといったことがありました。もちろん小嶋さんなりの考えや理由があったことだったので、会社のルールがうまく伝わっていなかったことも要因のひとつでした。支援センターはご本人から理由を聴き、会社はご家族に連絡し状況確認をされ、なぜそのような事が起きているのか原因を考えました。従業員さん達はしばらく見守り、ひとりの従業員として対応されました。

雇入れ当初は、作業の進み具合に合わせて短時間勤務でした

が、何年か経ち作業スピードも速くなり、他の業務も任されるようになり時間も延びました。冬でも冷水で豆腐を扱ったり、外で行うコンテナ洗浄は寒さもあり大変と言いますが、大変だからこそそのやりがいを感じているようです。

また運動が好きな小嶋さんは、休日の時間は体を動かすな

どして有効に使っています。トレーニングジムを利用していますが、利用前にジムのスタッフに相談され、小嶋さんの事を知って頂き、通い始めたそうです。小嶋さんも毎週この時間を楽しみにしており、ご家族も安心して送り出せるとのこと。

以前、家族がケガで家事ができない時、洗たく物や料理を作り、とても頼りになっ

小嶋崇さん：芳川豆腐こんにゃく店

たそうです。外見にも磨きがかかっています。内面も素敵な男性になっていきます。社会人として仕事の他にも様々な経験を積み、広がりも見せ大きく頼もしくなっておりました。あと3年で勤続20年となる小嶋さん。働き続けるとは何かを感じさせてくれました。

(雇用支援ネットワーク部会員 坂東絵理)

